



## 実践型マインドリーダー 養成プログラム



### レッスン3 岸先生によるQ & A

みなさんこんにちは、岸正龍です。

今東京・名古屋のセミナー真っ最中、6回が終わりました。

皆さん熱心な感じがしますね。

会場で体感していただくことで、「あ、こんなに違うんだ」という、ワザというかテクニックと  
いうか、エッセンスをいくつかお渡ししている時に「すごい！こういうことだったんだ！」と  
感じていただけていて、やっていて楽しいです。

知見と言うか、「こういう考え方だよ」というのは動画レッスンの中で全部お渡ししているの  
ですが、例えば「センターペーシングとは？」「実際にセンターペーシングをされた時にどうい  
う感じがするのか？」など、体感しないとわからないところはあります。

「これまで自己投資に数十万～百万円くらい使ってきたけれど、対人スキルの大切さがよくわ  
かり、これまでの時間をもったいないと感じてしまいました。」という、胸に迫るような感想を  
いただきました。その感想、すごくわかります。

僕も同じような感じがあったので。「どれもだめ、どれもだめ」みたいな状況で、「何か救っ  
てくれるものはないだろうか？」というところでぐるぐる回って、かなりのお金と時間を損した  
というところがあるので、すごくわかりますね。

お金は仕方がない、また頑張ればいいというところがありますが、失われた時間はもう取り戻  
しようがない、というところがあるので、胸に迫るものがありました。

東京の会場で説明会に来ていただいた方に向けて、体験談を語っていただいています。

語っていただいた方はこのプログラムを1期で受講された時点で退職なさっていました。

セカンドキャリアじゃないですが、そこからどう、この世の中とかかわって生き直していくか、  
そういうところで使っていただき、本当に今お幸せそうです。いつも笑顔で「毎日楽しい」み  
たいな形なので。

失った時間は僕も含めて取り戻すことはできませんが、まだそこからの時間もありますので。

### ■質問1

相手がエニアグラムプロフィールを使ってきた場合、どのように対応すれば良いのでしょうか？

### ■回答

相手を使ってきているということが分かった時点で、それに乗る、乗らない、2つの選択肢があります。

無意識介入型のスキルなので、全くわからない方だと相手には察知されない、抵抗がないのですが、スキルを知っていると「あ、やってきているな」というのはわかります。

「ザ・サブリミナル」のプログラム全体でいうと、最後に「自分を知る」という部分が入っているので。自分の心が動いた時に、「無意識的・自動反動的に動いているか？」を自分で知ることができます。行くのか行かないのか、あとは自分の判断。

なので、わからないうちに誘導されてしまうということがなくなります。

説明会でもたくさんお話しさせていただいているのですが、「ザ・サブリミナル」では自分中心のコミュニケーションから、相手を軸としたコミュニケーションに移るということをやっていきます。

相手としては、非常に話を聞いていただいた、自分の気持ちに寄り添ってもらった、という気持ちが大きくなるので、こちらが出す提案も、まず聞く耳ができますね。

耳が開いている状態で、ちょっと前のめりに聞いていただけるので、(提案が)通っていく確率が高くなるというものですから。

無理矢理操っていくものではないというのはご理解いただきたいと思います。

悪意がある状態で、エニアプロフィールを使って売り込んできたら、「あ、これは悪意があるな」というのがわかるという感じなので、「あ、それは結構です」と言って断る話かな、と僕は思います。

### ■質問2

話をするのは好きですが、人見知りもします。そのようなものも解消されますか。

### ■回答

ここも誤解されがちなところなのですが、話がうまくなるスキルではないんです。人見知りが解消するスキルでもないということです。

話が好きというところに、ひょっとすると落とし穴があることもある、という感じです。人見

知りのまま、「なんかあの人ってさ、口数多くないけどすごくいい人だよ」と言われるようになる技術、という風に思っただけであればよろしいかと思います。

目的が、自分の人見知りをなくしたいのか、それとも相手の方に自分のいい印象を与えたいのかというところだと思います。

「ザ・サブリミナル」が目指すのは、自分が話し好きだろうが人見知りだろうが、最終的に相手が「あの人いい人だな」とか、「あの人から物を買ってあげたいな」とか、無意識に好かれている状態を目指したいのです。

お話しをするのが好きであれば、お話しをするのが好きなことを活かして好かれていく、人見知りの状態であれば、人見知りをしながら好かれていくというのを目指していくという感じだと思って下さい。

なので、自分が話し好きか、人見知りかはあまり関係ないということです。

ご質問のストレートな答えで言うと、これで「話し好きで人見知り」が解消されるかというと、解消されないと思います。でも、そのままでものすごく相手から好かれる人間になっていくことができるということです。解消する必要がないといえればいいでしょうか。

実際にプログラムに参加されている方でも、コミュニケーションが得意だったという方が少ないです。

今も得意じゃないけど、人と会うのが怖くなくなったし人から嫌われなくなった、というのはたくさん聞いています。そこをゴールに進んでいただければ、人生が豊になっていくのではないかと思います。自分というより相手との関係ですね。

### ■質問3

心理的に相手より優位に立つことができ、それによって自分に余裕が出てくると思うのですが、こちらが心理的に余裕を持った態度になってしまっても良いものなのでしょうか。

### ■回答

これは動画をよく見ていただいたうえでのご質問だというのがすごくわかって嬉しいです。ありがとうございます。

そのうえで、誤解を与えてしまったような、僕の説明不足かなあと反省もしているのですが、心理的に相手よりも優位に立てることはないです。最初のうちは必死ですね。

なぜかと言うと、心理的に上に立っているというのは自分側に余裕があるというか、気持ちが来ているのですが、最初のうちは相手に興味を持ってずっと相手の話を聞く、あるいは相手のプロフィールをしていくと、心に余裕を出している余裕がないというか。

本当に相手に寄り添っていかないと、相手のことはわからないので。余裕を持つと言うよりは、相手のことが分かって嬉しいという感情なんですね。これは僕だけじゃなくて色々な参加者さんを見ていても、余裕がある、上からの目線になったというのは、聞いたことがないですね。

その人が痛い思いをして「何がまずかったのですか？」と聞いて、自分の中で納得する。相手を型にはめた時点で、自分の方に気持ちに戻ってくるので、そこでコミュニケーションがすべていく、というのはあると思います。

自分が優位だと思った瞬間、相手に伝わります。「ザ・サブリミナル」は、そこを避けるためにこれをやりましょう、これをやりましょう、という、段階を踏んだメソッドになっているので、心に余裕を出すというか、相手を型にはめないような形で進めて行くような全体像になっていると自信を持って言えます。

そこはご安心いただければと思います。

#### ■質問4

エニアプロファイルを読み間違えて地雷を踏んでしまった場合の修復のしかたを聞いてみたいです。

#### ■回答

まず、読み間違えてしまうというところですが、全然いいと思います。エニアプロファイルは当てっこではないので。

例えばルーラーの1かなと思って読み間違えたというのは、自分の中で起こるだけですよね。なので、その時には「あ、ルーラーじゃなかったんだ。じゃあ balancer かな？」と思いつつ、自分の中でプロファイルをして、球を投げ続ければいいと思います。

当てっこではないので読み間違い大歓迎というか、そもそも読み間違いがないというか。相手に寄り添っていくためのものですから、球を投げる、外れた、球を投げる、外れた、ということの繰り返しをしていただければいい、というのがひとつ。

で、「NG なことをしてしまった。どう修復するか？」ですが、相手が地雷で爆発してしまった時は素直に謝る。これは人として当たり前なのですが。

例えば相手がルーラーだとして、玄関に靴を揃えておくのを大切にしていたというところで、靴をぐちゃぐちゃにして相手が怒った。

「あ、ここだったかな？」と思ったら、「ごめん。僕は靴を揃えるという習慣が昔からなかったので、ぐちゃぐちゃにしていたけど、今度から揃えるようにするから許してね。ほんと反省してる。ごめんね。」と謝るのが一番いいんじゃないかなと。

このご質問に沿って答えるのであれば、NG なことをしてしまったなら「NG なことをしてごめんなさい」と謝ることです。そのポイントについて謝れば、人として「そこがわかってくれているのだったら」と、関係修復できる可能性は非常に高くなると思います。

例えば時間を守らないとか約束を破るといふ、タイプを越えて NG な話は NG な話なので。

「タイプを越えている」というのはご理解いただいていると思いますが。

例えばスマイリーで「ありがとう、と言われなかったから心がザワザワする」というのがあるとして、クールと読み間違えて、ありがとうと言わなかったからといってクールの人が怒るといふ可能性は低いからです。

そこはご安心いただければと思います。

#### ■質問5

私は雑談がとても下手です。「禁断の心理話術」を読ませていただきましたが、助手君と違ってうまく言葉が出てこないと思います。このままでは、プロファイルして、最初はうまくいったとしても、その関係を維持または良くする雑談ができず、途中でネタが尽きて飽きられそうです。やはりある程度コミュニケーションが取れる人間でないと、相手をプロファイルしてから先に進むことは困難なのでしょうか。

#### ■回答

まずは本を読んでいただきありがとうございます。

助手君は狂言回しというか、助手君が回していかないと、博士だけだと話が飛んでいってしまうので。うまく表現を回すということで助手君に結構しゃべらせているのですが、ズバリのお答えとしては、雑談しなくて大丈夫です。

前の質問でもお答えしたのですが、1期、2期、3期と入ってきた参加者さんを見ると、ほとんどの方が雑談がそんなに上手くないというか、コミュニケーションがそんなに得意ではないという方です。

雑談とかコミュニケーションとか、しゃべることを上手くする講座ではありませんので。

黙りながら、雑談しない状況で「あの人すごい人だね。もっとあの人と関わっていたいな」という人間関係を作っていくというやり方ですので。

黙りながら相手をプロファイルして、そっとほんの一言二言で、その人といい関係を結びながら自分の望みを叶えていくことも充分できますから。雑談がうまくない、コミュニケーションが取れないからエニアプロファイルしてから先に進めないということはないです。

楽ですよ。何を喋ろうとか、今度この人がこういうリアクションしたらどうしようとか、全く考える必要がなくなるので。ただ興味関心を持って相手と話をする。これ前回の Q&A でもお話ししたと思うのですが、相手のタイプによっては静かな空間の方が心地いい方もいらっしゃる

るわけです。

ワッと話しするより、ただ二人でたたずんでいるとか。二人でお酒を飲みながらポツポツと話しする方が心地良かったな、というタイプの人もしらっしゃるので。

いろんなタイプの方を知って、その人の自動反応に寄り添っていけば、こちらから「あれ話そう、あれ話そう」と思わなくても心地いい時間を過ごせますし、人に好かれることができる。

雑談で相手を楽しませるより、相手が望むコミュニケーションスタイルを取るという方が、良質なコミュニケーションだと思いますので、雑談が下手だとか、そういうのは全然お気になさらないで下さい。これは自信を持って言い切れます。

#### ■質問 6

全タイプを使い分けるのは大変そう。そもそもタイプ分類する自信がない。 balanサーの対処法だけでまずは実践してみようかな。

#### ■回答

「balanサーの対処法だけでまずは実践してみようかな」という最後の一言に、僕はものすごく感謝をします。実践していただくと思って発信しているものなので。

ここからまずは実践してみようかなと思っていただいたことがまず嬉しい。ありがとうございます。

確かに、全タイプを使い分けるのは、最初のうちは難しいと思います。

なので、balanサーからとか、あるいはビッグボスからとか、スマイリーからとかシンカーからとか、わかりやすいタイプから行っていただく。

balanサーから実践していただくのも素晴らしい考えだと思います。

もうひとつ、タイプのプロフィールについて、レッスン動画では時間の関係上 9 つ全部お渡しして「さあどれですか？プロフィールしてください」とお話ししているのですが、説明会にお越しいただいた方にご紹介している「3 × 3 (スリーバイスリー) システム」というのがあります。

9 つの前にまず 3 つに分け、3 つに分けるのが 1 個あって、3 つに分けるのが 1 個って、3 かける 3 で 9 個の分類をするという風に、実際のプログラムでは進んでいきます。なので、プログラムにご参加いただけると、「あ、こういう風にプロフィールしていくんだな」と、かなり正確にプロフィールできるようになる、ということも付け加えてお知らせをさせて下さい。

なので、パッとわかるところがあると、そこからひもづけて「この人は 3 タイプのうち、頭の方にエネルギーがあるな」というのがわかれば、あとはここからの 3 つを見ていけばいいので。プロフィールとしては非常にシステムチックになってくるというのがプログラム全体の流れに

なっています。

その点を置いておくとしても、バランスの対処法だけで、まず実践していただけるというお言葉がありますから、ぜひ実践していただいて、感じていただけると嬉しいです。

#### ■質問7

タイプが複数重なっている方もいらっしゃるのでしょうか。

#### ■回答

こちらも「使ってみようかな」と思ったがゆえでのご質問だと思いますので、感謝させていただきます。ありがとうございます。

お答えですが、エニアグラムとしては無いです。エニアグラムが言っている「タイプ」というものに関して言うと、「人は1つのタイプを持って生まれてきて、それは死ぬまで変わらない」というものがありますので。

エニアグラムとしてはタイプが重なっているというのはありませんが、エニアプロフィールとしてはあり得ます。「性格の四重同心円構造」というのをよくお話ししているのですが、本にも書いてあるので本を見ていただければ。

エニアグラムの言っている「気質」というのは変わりません。でもこの周りにある、育てられ方とか習慣とか、あるいは役割によって、そのタイプに見えてしまうということは往々にしてありますね。

説明会で具体的な事例をお話ししたのですが、例えば、今まで役職がなく普通にお仕事されていた人が、いきなり「おまえリーダーになれ！」と言われて20人、30人のチームを率いなければいけないということになると、「リーダーでなければならない」という、役割のレベルが強くなるじゃないですか、誰でも。

そうすると「引っ張っていかなくちゃ」という気持ちが強くなるので、見え方としてタイプ3のクールに見えて引っ張って行ったり、あるいはビッグボス的に見えて引っ張って行ったり、というところが非常に強く現れる場合というのがあります。

そうすると「なんかこの人はここなのか、こっちの垣間見えるところなのかよくわからない」という、プロフィールが複数出る可能性は充分あります。

「リーダーになりたい」という今の事例で言うと、タイプ3、6、8に見えるのであれば、そこでやれば僕は嬉しいです。リーダーでありたいと思って振る舞っているのです。

「リーダーであるあなたは素晴らしいですね」と言われれば、僕は嬉しいです。

「ああ、この人は俺のことをわかってくれているな」という気持ちはあります。必ず出るはず

なので。プロフィールとしては正しいということです。「ザ・サブリミナル」の方向としては。

なので、タイプが重なっている人はいませんが、重なって見える可能性はあるというのがお答えになります。

#### ■質問8

タイプ別のキラークションやフェーズがありました。頭ではそうすればいいとわかっているけど、自分のプライドがそれをやりたくないとか、言いたくないというのではないのでしょうか。（私はあるのですが・・・）

#### ■回答

僕もあります。全ての人に「ザ・サブリミナル」をする、タイプ別キラークションをする必要は、僕はないと思っています。

自分の人生にとって必要な人、この人とつながっていきたくない、という人だけにしか僕もやりませんし。言葉は悪いですが、僕の人生にとって、足を引っ張るような人というのも世の中にはたくさんいらっしゃいますから。

僕は聖人君主ではありませんから、そういう人はいると思っています。その人に対してまでやる必要は全くないと思っていますし、やりたくないという気持ちは重々わかります。

でも自分の人生を豊かにしてくれる人、つながってほしいと思う人、自分の好きな人に対しては、僕はそれをやりたくないという気持ちよりも、この人とつながっていきたくないという気持ちの方が強いので、やっているという形ですね。

もっと言えば、自分がつながりたい人とつながれるし、つながりたくない人とはつながらないという選択肢が自分に来るということです。

実際にお目にかかっていろいろ実践していく「ザ・サブリミナル」のコースの中で、僕はよく「笑顔で蹴っ飛ばす」みたいなことを話していて、その方はそれを実践していただいたと思うのですが。

笑顔だから向こうも怒らないけど、確実に壁を作っていくということですね。

お気持ちはよくわかりますし、僕も使いたくないと思う人には全く使っていません。普通にバカな話をしている、みたいな。プロフィールすらしないという感じもあります。

#### ■質問9

岸先生はコメント文を読まれて、どのタイプに当てはまるのかわかるのでしょうか。

## ■回答

この質問を読んで、「このタイプじゃないかな？」というのは思い浮かびます。  
ただ、2行足らずの質問なので、絶対かどうかはわかりません。

傾向として、このような質問をされる方はこのタイプが多いとか、こういう質問をされる方はこういうタイプが多いという、予測というか、プロフィールの手前の「この辺じゃないかな？」というのが思い浮かんだりします。

なぜかと言うと、ザ・サブリミナル、エニアプロフィール自体が、出てきた言葉や言動の奥にある「どこのボタンが押されて自動反的にその質問が出てきたのか？」という、奥の奥の無意識の自動反応を読んでいくというか。「あ、きっとこの質問は、ここを押されて出てきたんだろうな」というところを見ますから。何となく「このタイプじゃないかな」というのを持つ、という感じですね。

例えば、今回9つの質問や感想をコメントさせていただきましたが、皆さんがご覧になっている動画は同じじゃないですか、レッスン1、2、3って。でも皆さん、ご質問で出てくるポイントっていろいろですよ。

つまり、そこで無意識の何かが動いているわけですよ。ここが自動反応している。でも皆さんバラバラだというのは、今日の9つのご質問を見ていただいてもわかっていただけるのではないかなと思います。

ただ、これは絶対ではないです。何度も繰り返しますが、2行とか4行のご質問からなので。僕もこれでその人のプロフィールがわかったというような、傲慢な考えは全くないです。ただ、傾向はそうだなという風に思えば、実際にその方とお目にかかった時に、まずそこをきっかけにお話しできたり、地雷を踏まないコミュニケーションができます。そのうえで、実際に話をしていく中でちゃんとプロフィールをしていくというような感じだと思ってください。

\* \* \*

以上9つ、かなり実践を意識したご質問をいただきありがとうございますし、嬉しいです。ぜひ使っていただきたいです。

レッスン4では、サブリミナルのプログラムが実際どのようになっているのかを、かなり細かく解説していく動画になっています。職業的にもジャンルのにも様々な結果を出していただいております、その幅は年々広がっています。

ここでは言えないご職業の方とか、本当にいろんな方から使っていただいております、僕もまだま

だ人と人がかかわるところで、このスキルを使っていただけるんだと、大変嬉しく思っています。

「人生を少しでも豊かにしたい」と、少しでも思われるのであれば必ずお役に立てますので、レッスン4をご覧ください、直接お目にかかる機会をいただけたら嬉しいなと思っています。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。